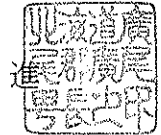




広 企 商 発
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

広尾町長 大 野



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号により御依頼ありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出致しますので、御確認方よろしくお願い致します。

(企画商工企画係)

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】**■高規格幹線道路の整備・利用促進****①高規格幹線道路の整備促進**

北海道は他の地域に比べ中核都市間が広域に分散していることに加え、積雪による路面状況の悪化などにより、冬期の広域移動、とりわけ地方部から中核都市の高次医療施設までの移動に多大な時間を有する地域が多く存在しており、人命に直結する重要な課題となっています。高規格幹線道路の整備はこのような課題解決に寄与するものであり、重点的かつ優先的な整備が必要です。

特に、南十勝の各町村と中核都市・帯広市を接続する高規格幹線道路帯広・広尾自動車道は、広大な面積の中、高次医療施設までの移動時間の短縮など住民生活の向上を図る上で重要な役割を担う路線となることに加え、重要港湾十勝港と帯広空港、北海道横断自動車道を結ぶ交通拠点となり、圏域の豊富な農畜産資源の輸送コストの低減や広範囲からの原材料の集積、新たな加工品の開発など十勝全体の地域経済の活性化に大きく寄与できることから、早期の全面開通が重要です。

②高規格幹線道路の利用促進

高規格幹線道路の利用促進を図るため、有料区間の通行料金の値下げやIC増設を積極的に進める必要があります。

【道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見】**■安全・安心な交通環境への改善**

近年の災害の多発により、地域住民の間に災害への危機感が高まっています。北海道は、交通事故の発生率も依然として全国的に見て高い状況であり、特に冬期における安全確保が課題となっています。

今後の安全・安心な交通環境の確保のため、次の事項について改善を優先的に進める必要があります。

①道路防災対策

国道336号（黄金道路）の音調津～庶野間は、降雨量が80ミリを超えると通行止めとなります。通行止めは人間の生命に関わり、また、住民生活、経済（沿岸漁業生産道路）にとっても大きな打撃となっており、通行止めの早期解消が必要です。同じく国道336号海岸沿線においては、越波により石などが道路及び家屋の傍にまで上がっている状況であります。

また、国道336号においては、大雨により道路が冠水し広尾町が陸の孤島となり住民生活、物流に影響を受けたことがあります。さらには、地震に対しては、津波への備え、橋梁等の耐震対策、緊急輸送道路の確保が必要です。

このように、通行の安全・安心を確保し、地域の生活・経済に支障を及ぼさないようにするため、災害に備えた道路防災対策を重点的に進める必要があります。

②地方の安全・安心を確保するための交通安全対策と危険箇所の解消

国道236号及び336号の沿線には、小中学校に通学している児童生徒が居住している地

区があります。地方において地域住民が安心して日常生活を送ることができるように、歩道整備などの交通安全対策を重点的に進める必要があります。

国道336号には急なカーブがあり、運転操作ミス等により民家に突っ込む等の交通事故が発生しました。また、近年年間6万tの輸入石炭陸揚げがされたことにより大型車の通行量が増えており、付近住民の不安感はいへん大きなものがあります。また、国道236号には幅員5.5mの区間があり、車道センターから路肩方向に傾斜がきつい箇所や路肩よりのところが窪んでいる箇所があります。そのため、路外に落ちるような不安感を生じ、実際に事故が発生している状況がみられ、冬期には路面凍結や積雪によって危険が顕著となります。

このように危険な箇所は未だ残されており、安全走行の確保、交通事故の防止のために、急カーブや急勾配、幅員の狭い区間など危険箇所の重点的な改修を行う必要があります。

③計画的な維持管理の実施と必要な予算の確保

維持管理の予算の削減に伴い、草刈りなど十分な対応が出来なくなっている状況が見られます。たとえば、国道沿いの取り付け道路へ出入りする際、時期により雑草等が伸び、見通しが悪くなり危険です。草刈りの実施回数、実施箇所、実施時期など計画的に維持管理を進める必要があります。また、安全を確保するために維持管理に必要な予算は充実し確保する必要があります。

④高齢化社会に対応した道路整備

追い越し禁止車線で大型車両が多く通行している区間では、高齢ドライバーによる低速走行などがあると、スムーズな走行に支障をきたしている状況です。近年増加傾向にある高齢ドライバーへ対応するため、車道の拡幅による追い越し禁止区間の解消と併せて必要箇所の片側二車線化を行う必要があります。

■観光振興の支援

本町においては、十勝と日高を結ぶ天馬街道が全線開通されて以来、高速バスひろおサンのルートでもあることから、札幌方面や日高側からの観光客も相当数訪れています。観光の振興には、沿道環境の整備が重要であります。特に行楽期における自家用車による周遊観光には、市街地までの距離数を示した分かりやすい表示板の整備が必要不可欠であります。

観光客などに対し分かりやすく親切な案内表示をすることは、今後の観光振興に繋がるものであり、非常に重要であります。